

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2006-320503(P2006-320503A)

【公開日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-047

【出願番号】特願2005-145918(P2005-145918)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月26日(2008.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筐体と、

該筐体に取り付けた扉と、

を備え、

前記扉は、

遊技の結果を表示する遊技結果表示部と、

遊技者が操作するための操作部と、

遊技媒体が払い出される払出口と、

前記払出口から払い出される遊技媒体を受ける遊技媒体受け部と、

前記操作部と前記遊技媒体受け部との間に位置する腰部パネルと、

音を出力するスピーカと、

を有し、

前記扉に備えられた各部材のうち、複数の部材のそれぞれに備えられた振動部材と、

遊技状況に応じて、複数の前記振動部材のいずれを振動制御するかを決定するための決定情報を格納する情報格納手段と、

前記決定情報に基づいて、複数の前記振動部材を振動制御する振動制御手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

複数の前記振動部材は、

前記操作部を振動させて音を出力するようにした第1振動装置と、

前記遊技媒体受け部を振動させて音を出力するようにした第2振動装置と、

前記腰部パネルを振動させて音を出力するようにした第3振動装置と、

からなり、

前記情報格納手段は、遊技状況に応じた音の種別に応じて、該音を出力するために前記スピーカ、前記第1振動装置、前記第2振動装置、又は前記第3振動装置のいずれを制御するかを決定するための決定情報を格納し、

前記振動制御手段は、前記決定情報に基づいて、遊技状況に応じた音を出力するために前記スピーカ、前記第1振動装置、前記第2振動装置、又は前記第3振動装置の少なくともいずれか1つ以上を制御することを特徴とする請求項1記載の遊技機。

**【手続補正2】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0010**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0010】**

(1) 筐体と、該筐体に取り付けた扉(例えば、後述の前面ドア2など)と、を備え、前記扉は、遊技の結果(例えば、後述の入賞の図柄組合せなど)を表示する遊技結果表示部(例えば、後述の液晶表示部2b、後述の図柄表示領域21L, 21C, 21Rなど)と、遊技者が操作するための操作部(例えば、後述のスイッチケース25など)と、遊技媒体が払い出される払出口(例えば、後述のメダル払出口15など)と、前記払出口から払い出される遊技媒体(例えば、メダルなど)を受ける遊技媒体受け部(例えば、後述のメダル受け部5など)と、前記操作部と前記遊技媒体受け部との間に位置する腰部パネルと、音を出力するスピーカ(例えば、後述のスピーカ9L, 8Rなど)と、を有し、前記扉に備えられた各部材のうち、複数の部材のそれぞれに備えられた振動部材(例えば、後述の停止ボタン用振動装置61、後述のメダル受け部用振動装置63、後述の腰部パネル用振動装置62など)と、遊技状況(例えば、後述のリールが回転する状況、後述のリールが停止する状況、遊技媒体が払い出される状況など)に応じて、複数の前記振動部材のいずれを振動制御するかを決定するための決定情報(例えば、後述の動作装置識別テーブルなど)を格納する情報格納手段(例えば、後述のプログラムROM93、後述の音源ROM97など)と、前記決定情報に基づいて、複数の前記振動部材を振動制御する振動制御手段(例えば、後述の図24～図26を行う手段、後述の音源ICなど)と、を備えたことを特徴とする遊技機。

**【手続補正3】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0011**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0011】**

(1) 記載の遊技機によれば、振動制御手段は、決定情報に基づいて複数の振動部材のうちいずれかを制御する。したがって、遊技状況に応じて複数の振動部材のいずれかが振動して音が出力されるため、遊技の多様性が増大し、遊技の興奮を向上させることができる。

**【手続補正4】****【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0012**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0012】**

(2) 複数の前記振動部材は、前記操作部を振動させて音を出力するようにした第1振動装置(例えば、後述の停止ボタン用振動装置61など)と、前記遊技媒体受け部を振動させて音を出力するようにした第2振動装置(例えば、後述のメダル受け部用振動装置63など)と、前記腰部パネルを振動させて音を出力するようにした第3振動装置(例えば、後述の腰部パネル用振動装置62など)と、からなり、前記情報格納手段は、遊技状況に応じた音の種別に応じて、該音を出力するために前記スピーカ、前記第1振動装置、前記第2振動装置、又は前記第3振動装置のいずれを制御するかを決定するための決定情報を格納し、前記振動制御手段は、前記決定情報に基づいて、遊技状況に応じた音を出力するために前記スピーカ、前記第1振動装置、前記第2振動装置、又は前記第3振動装置の少なくともいずれか1つ以上を制御することを特徴とする請求項1記載の遊技機。

**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

(2)記載の遊技機によれば、制御手段は、上記決定情報に基づいて、遊技状況に応じた音を出力するためにスピーカ、第1振動装置、第2振動装置、又は第3振動装置の少なくともいずれか一つ以上を制御する。したがって、遊技状況に応じた音の種別に応じて、操作部が振動してその音が出力されたり、遊技媒体受け部が振動してその音が出力されたり、腰部パネルが振動してその音が出力されたり、スピーカからその音が出力されたりするので、遊技の多様性が増大し、遊技の興奮を向上させることができる。